



オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>



2022年

9月号

2022.9.3 発行

第246号

※詳しい記事は、2, 3ページをご覧ください。

2022 オリーブスピーチ大会 入賞者

中上級の部

- 1位 ラヤンさん(スーダン)
- 2位 ヴォティ・ゴラムさん(ベトナム)
- 3位 ゲン・ヴァン・フォンさん(ベトナム)
- 4位 瀧口 啓示さん(ブラジル)

初級の部

- 1位 中川 智絵さん(中国)



中上級で入賞した4名は、9月11日の KIFA 日本語スピーチ大会にオリーブ代表として参加します。中川智絵さんは SHIPS の代表として参加します。

中川先生のへんてこ日本語

ありがとうございます

「ありがとうございます」と言われて、いやな気をする人はいないだろう。丁寧なお礼を言われると、むしろ恐縮してしまう。ところが最近、まともにお礼も言えないような人が増えている。

「あーした」としか聞こえない。特に飲食店などでは、まともにお礼も言ってくれない。単なる社交辞令化しているようで、ちっとも嬉しくない。

日本語は音節ごとに「拍」を刻む。英語のような閉音節(子音で終わる)言語とは異なり、開音節(子音に母音がついて終わる、「ん」を除いて)言語であるため、「拍」の概念が強く働く。

「聞き取りやすさ」は、どうやらこの「拍」にこそあるようだ。「ありがとうございます」は11拍だが、「あーした」はいったい何拍だろうか。

ニュースアナウンサーの話を聞いていると、きれいな拍を刻んでいることが分かる。いわゆる活舌の良さである。自己紹介をさせても、いったい何という名前なのか聞き取れない学生も多いが、拍の概念が欠落しているためである。

聞き取りやすさを増すためには、ゆっくりめのスピードで1音節1音節を噛みしめて発する練習が必要だが、音節ごとに指折り話したり、両手をたたきながら話す方法などが有効である。この練習を意識すると、自ずと拍の概念が備わり、ゆっくり音節を噛みしめながら話せるようになる。

「ありがとうございます」とにこやかにお礼が言えるようになる、客からの「拍」手も起こるようになるのではないか。

144



京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

2022 8月27日(土)

オーブ 日本語スピーチ大会



今年、KIFAが日本語スピーチ大会を開催するということで、その予選を兼ねて「オーブだけのスピーチ大会をやろう!」と、8月27日に実施しました。長いオーブの歴史の中で、過去にスピーチ大会を開催したこともあるようですが、今回は久しぶりの実施で、スタッフも1から実施要項を練りました。

まずは、司会の豊村会長の開会宣言と実施方法の説明。そして、スピーチが始まりました。



中上級 グエン・ヴァン・フォン さん (ベトナム) 「時間を有効に活用しよう」

日本では、すべての生活が時間とのたたかいだ。仕事もとてもいそがしい。

そんな中で、自分の時間の使い方を考えた。毎週土日をどう使うか、平日は7時半起床、夜8時帰宅、8時から12時をどう過ごすかを考え計画を立て、計画と比較してどうだったかを反省し、次の週に生かした。1週間に日本語を13時間勉強することを目標にした。このコントロール法で毎週きちんと勉強し、12月の日本語のテストで合格したい。



中上級 オンニス・パオロ・アリステディ (イタリア) 「日本のよいところ」

3年前に日本に来たが、その前に中国やニュージーランドに滞在した。これまで訪れた国と比較して、日本の良さを話したい。

日本で最も衝撃を受けたことは3つある。それは清潔と安全と思いやりの心だ。

まず、「清潔」。ポイ捨てがないきれいな街並み、清潔な公共交通機関。学校では掃除の時間があり、子どもたちが掃除することを学ぶのもよいことだと思う。

次に「安全」。「日本人はお花畑に住んでいる」という人があるが、犯罪やけんかに巻き込まれることがないなど、日本の安全性は特別なことであり、世界の多くの国では考えられないことなのだ。(……とここで、残念ながら時間切れ。まだ半分以上あった原稿をいつか聴きたいですね。)



中上級 ラヤンさん (スーダン) 「私の母国 スーダン」

日本の友人に「スーダンには30種類のマンゴーがある」と話したら、友人は「日本人はスーダンについて戦争のことは知らない」と言った。たしかにスーダンは長い内乱が続いたので、スーダンについての日本のニュースは戦争のことばかりだ。今回はスーダンについてみんなに知ってもらいたい。

スーダンはアフリカ第3位、世界第16位の国土を持つ大きな国で、熱帯から乾燥地帯まで気候の幅も広い。将来、世界に食糧を供給できる可能性のある国だ。スーダンは歴史的にイスラムの影響を受けてきた国だが、スーダンの女性の活躍は特筆すべきで、イスラムとアフリカの国々の中で最初の女性議員はスーダンから出た。また、ピラミッドなど、歴史的な遺跡も多い。

戦争だけでなく、魅力あふれるスーダンをぜひ知ってほしい。



中上級 ヴォティ・ゴラム (ベトナム) 「進歩のきっかけは？」

わたしはあまり話すのは得意じゃないほうだ。でも、新しいことばを覚えるにはその国に行かなければと思い、日本に来た。人見知りで最初は簡単なあいさつにも詰まってしまった。日本語が難しく帰国することも考えた。

そんな日、あの事件が起きた。用事があって行った銀行で、係りの人に日本語をすごくほめられて、とてもうれしかった。以来、自分から日本人に話しかけるようになった。今は日本語の勉強をがんばって、将来は通訳ができるようになりたい。



中上級 瀧口啓示 さん（ブラジル）「みんなのはしわたし」

私は日本で生まれ家族といっしょに10年近く暮らしたが、リーマンショックの時に仕事なくなり、ブラジルに帰った。ブラジルの日本人コミュニティでは、和太鼓のリーダーを務め、技術と日本のマナーを教えた。しかし、また日本に帰りたいと思い、やっと帰ってきた。

現在働いている工場で、ブラジル人が日本人とうまく話せず、トラブルになるのを見て、自分がブラジル人と日本人の橋渡しになりたいと思った。もっと日本語を勉強し、永住権をとりたいと思っている。



中上級 サティア・バティ・ベハラ（インド）「アベノミクス」

アベノミクスということばをみんな知っていると思うけど、それについて話したい。

- 1)金融政策では、ゼロ金利で、みんなが新しいビジネスに参加できるようにした。
- 2)インフラにお金をかけた。
- 3)労働面での構造改革で、女性・外国人労働者を増やした。

アベノミクスは成功したと思う。自分も安倍さんのおかげで日本に来ることができたと思う。

その安倍さんが4月のテロで亡くなったことはとても悲しい。



中上級 ホアン・トアン（ベトナム）「日本で学んだ事」

日本に来て気づいたのはきれいな環境だ。日本人は環境を守る意識をみんなが持っている。ごみの分別は難しいが、地球を緑にするため、自分もがんばっていこうと思う。

日本人の好きなところはサービスだ。自分の仕事に責任を持っている。日本に来て自分も責任感が増していった。

しかし、日本の皆さんは残業しすぎだ。もっと自分と会社のバランスをもったほうがいい。



初級 中川 智絵 さん（中国）「大好きな琵琶湖」

滋賀県には琵琶湖がある。初めて見たとき、とてもきれいだと思った。比叡山に登って上から見たとき、琵琶湖の美しさ感動した。

私はまだ琵琶湖の北の方に行ったことがないから、ぜひ自転車で、友だちと3泊4日くらいでゆっくりと一周したい。

そして、琵琶湖のすばらしさを実感したい。

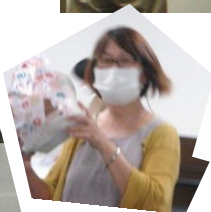


審査のあいだに…

ビンゴ大会！



みんな真剣…



ビンゴのやり方は国によってちがうそう。知りませんでした……



先月の活動(8月)

日本語教室 8/6(M), 20, 27 (3回)
 8/27 (土) オリーブ日本語スピーチ大会
 (30名参加)
 8/28 (日) 草津ラウンドテーブル (恩地)



今月の活動予定(9月)

日本語教室 9/3(M), 24 (2回)
 9/11 (日) KIFA 日本語スピーチ大会

- 日本語教室の(M)は定例ミーティング
- ()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



お知らせ

KIFAスピーチ大会の案内です。
 観覧を希望するかたは、メールもしくは電話
 で各自申し込んでください。

Mail: kifa-japan@codan.ocn.ne.jp

HP: <http://www.kifa-japan.org>



参加人数(8月)

	8/6	8/20	7/27
学習者	13人	15人	19人
先生	22人	22人	22人

※8月27日はオリーブスピーチ大会のため、授業はおこなっていません。



会員の動き(8月)

〈入会〉なし

〈退会〉なし



JLPT (7月実施)

合格者

N5 ディプティ・ダダトライ・ベハラ (インド)

N4 グエン・ティ・デテム・ゴック (ベトナム)

合格者は随時掲載していきます。
 分かり次第ご連絡ください。



KIFA 草津市国際交流協会 KIFA

おしえてほしい君の国、きかせてほしい君の想い

KIFA 日本語スピーチ大会

日本でがんばる外国人の方たちの日本語能力向上と、多文化交流を目的として、日本語スピーチ大会を開催します。彼らの国の話や、彼らの想いを聴きに、ぜひお越しください。新たな発見、新しい出会いがお待ちしています♡

日時：2022年 9月 11日 (Sun.) 13:30~16:00
 場所：草津市立市民交流プラザ(フェリエ) 5階 大会議室
 観覧費：無料 定員：先着 50名

【イベントの内容(予定)】
 ★外国人による日本語スピーチ (初級部門、中上級部門)
 ★パフォーマンス
 ★審査結果発表、表彰式

【主催】草津市国際交流協会
 【協賛】草津ライオンズクラブ
 草津ロータリークラブ
 【後援】草津市

【問合せ先】
 草津市国際交流協会 (KIFA)
 TEL 561-2322 / FAX 561-2482
 Mail:kifa-japan@codan.ocn.ne.jp
 HP:<http://www.kifa-japan.org>

◇お申込みは、9月2日(金)までに、メール・電話・窓口をお願いします。
 ◇左の二次元コードからもお申込みいただけます。
 ◇当日、発熱や体調のすぐれない方はご参加をご遠慮ください。

編集後記 久しぶりのオリーブのスピーチ大会。コロナの記録的な感染拡大が続く中、どうなるかと心配しながらの実施でしたが、参加者の熱心なスピーチに感動しました。ビンゴ大会も楽しんでくれたようで何よりでした。また、審査講評で一人一人にアドバイスがあったことも、スピーチ参加者にとって貴重な糧になったと思います。教室内のスピーチ大会ならではのことでですね。残念だったのは初級の参加者が少なかったこと。帰省が多い時期のせい？コロナのせい？それともハードルが高かった？どうしたらもっと多くの方がスピーチしてくれるのかな？

その他、いろいろ反省、分析して今後に生かしていければと思います。ともかく、みなさまおつかれさまでした。(フクイ)